



2008年4月10日

2008年2月期決算報告と中期経営計画



(証券コード:3337)

株式会社 サークルKサンクス

広報IR秘書室長 吉田 雅浩

*本資料には発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予想を含んだ内容を記載しております。実際の業績は今後様々な要因によってこれらの予想とは異なる可能性があります。

1. 連結業績ハイライト

(単位: 店、百万円)

	2007/2期	2008/2期	2008/2期	
			前期比	計画比
出店	328	339	+11	-40
閉店	386	488	+102	±0
期末店舗数	5,369	5,238	-131	-40
チェーン全店売上高	911,281	902,423	-1.0%	-0.6%
営業総収入	194,392	206,373	+6.2%	+0.4%
営業総利益	134,033	135,758	+1.3%	-0.4%
販管費	110,920	114,662	+3.4%	-0.9%
営業利益	23,113	21,095	-8.7%	+2.6%
経常利益	22,110	19,470	-11.9%	+5.2%
当期純利益	10,237	8,579	-16.2%	+3.2%

2. 連結業績の計画差異要因

(単位:百万円)

	計画比	計画差異
営業総利益	-0.4%	-551
販管費	-0.9%	-1,077
営業利益	+2.6%	+525
経常利益	+5.2%	+970
当期純利益	+3.2%	+269

計画差異要因

- ・営業総利益: 値入率は28.99%(計画比 $\pm 0.00\%$ 、前期比 $+0.02\%$)
出店数・既存店前年比の計画未達により、加盟店からの収入減(計画比 -7.3億円)
- ・販管費: 広告宣伝費 計画比 -3.9億円
旧POSレジ・Edy除却などによる長期前払費用償却費の戻し 計画比 -5.9億円
- ・営業外損益(ネット)計画比+4.4億円: 解約損害金 計画比 -1.7億円
- ・連結子会社: ゼロネットワークスが営業利益で計画比+2.4億円

3. 2008年2月期レビュー(単体ベース)

1 新店日販の改善と自営店数削減

■新店日販 40.9万円(前期比 1.5万円)

■自営店数 550店(前期比 -48店)

	実績	前期比
出店	284店	-23店
うち、リロケート	98店	-5店
新店日販(千円)	40.9万円	+1.5万円
閉店	459店	+102店
うち、自営店	188店	+52店
期末店舗数	4,929店	-175店

- ・「質」重視の出店
- ・地域別出店戦略を遂行

- 自営店削減の取組み
- ・複数店経営優遇制度下期から開始
- ・ベンチャー社員制度:7名独立

2 統合効果と攻めの商品開発

(1) 統合完了による荒利改善

■ 統合効果：約33億円荒利改善（統合開始～08/2期累計）

■ 08/2期値入率 **28.99%**（前期比 **0.02%**改善）

(2) オリジナル商品の強化：ブランド統合商品売上好調

2007年5月 PBパン

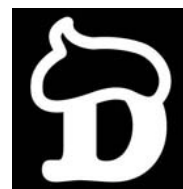


2008年2月度単月前年同月比

106%

2007年11月 PBデザート

Cherie Dolce



2008年2月度単月前年同月比

141%

3 新サービス導入で客数増

1. インターネット通販の店頭受取サービスを開始

・2007年5月より、サービス開始 → 2008年2月～「楽天ブックス」

2. 電子マネーの決済手段を多様化

・下期に新POSレジを全店に導入
→新たにポストペイ方式(後払い)のQUICPay、
Visa Touch(Smartplus)の取扱いを開始



3. KARUWAZA CLUB会員数が約34万人に！

・2007年4月より、カードレス会員登録を開始
→会員数が前期比12万人超増加

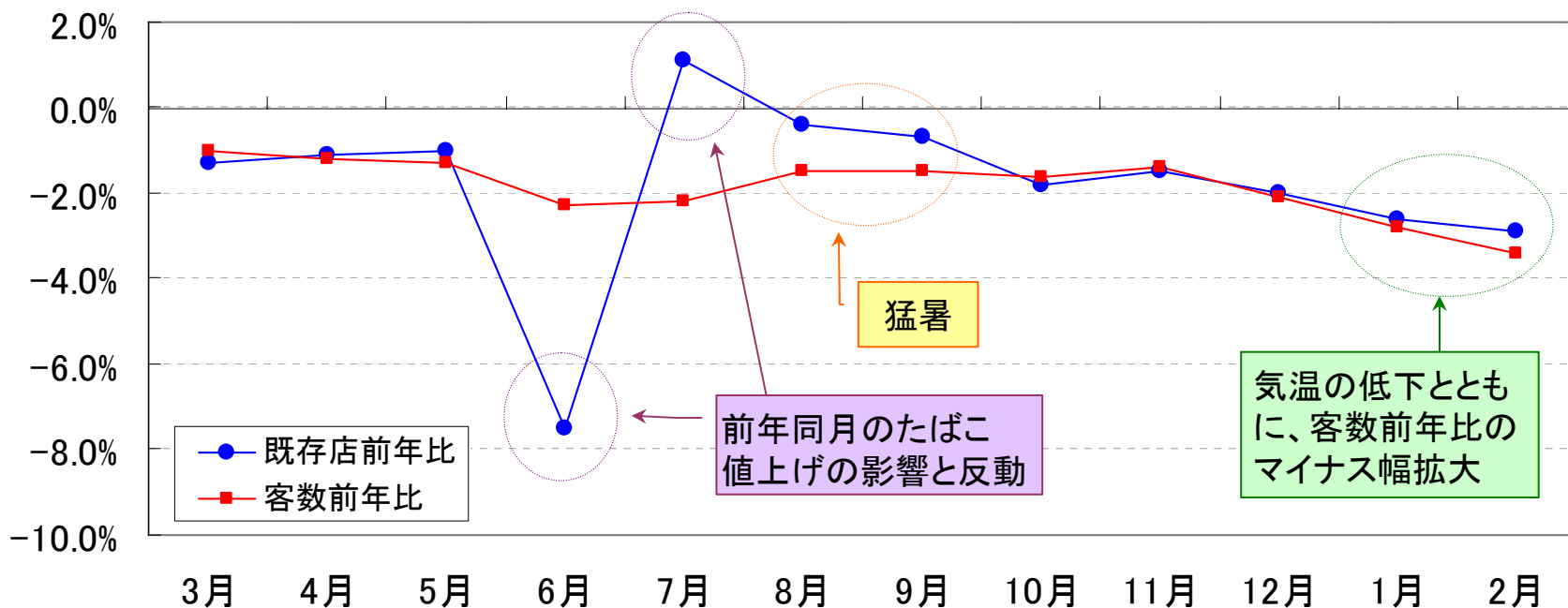


4. 関西地区へATM導入

・2008年2月から、関西地区の店舗へ「バンクタイム」ATMの導入開始

4 既存店前年比の状況

■ 既存店前年比 **-1.8%** ■ 客数前年比 **-1.8%**



08/2期	北海道	東北	関東	中部・北陸	中京三県	関西	中国	全国計
サークルK サンクス	-1.9%	-2.6%	-0.9%	-0.8%	-2.5%	-2.4%	-1.2%	-1.8%

4. 単体業績ハイライト

(単位: 店、百万円)

	2007/2期	2008/2期	2008/2期	
			前期比	計画比
出店	307	284	-23	-36
閉店	357	459	+102	+2
期末店舗数	5,104	4,929	-175	-38
チェーン全店売上高	872,844	860,041	-1.5%	-0.6%
既存店前年比	-3.3%	-1.8%	-	-0.6%
平均値入率	28.97%	28.99%	+0.02%	±0.00%
営業総収入	183,521	189,247	+3.1%	+0.5%
営業総利益	129,221	129,789	+0.4%	-0.4%
販管費	106,285	108,313	+1.9%	-0.6%
営業利益	22,935	21,476	-6.4%	+0.8%
経常利益	21,834	19,702	-9.8%	+2.2%
当期純利益	10,405	8,648	-16.9%	-3.8%

(注) 平均値入率の前期比は増減です。

5. 単体業績の前年差異要因

(1) 営業総収入 1,892億円(前期比+3.1%、57億円)

営業総収入内訳	前期比	前期差額	要因
加盟店からの収入	-1.2%	-12.3億円	既存店前年比-1.8%、店舗数175店純減
自営店売上高	+9.6%	+68.7億円	期中の自営店稼動店舗数が増加

(2) 販管費 1,083億円(前期比+1.9%、+20億円)

販管費内訳	前期比	前期差額	要因
人件費	+1.7%	+3.2億円	ベンチャー社員増加に伴い、従業員給与が増加
広告・販促費	+1.4%	+1.4億円	ポイントコレクトキャンペーンなど販促活動を強化
賃借料	+4.1%	+15.4億円	新店家賃相場の高騰、Cタイプ出店の増加
設備リース料	-10.6%	-8.7億円	旧システムのリース契約が満了
減価償却費	-0.7%	-0.6億円	ソフトウェアの償却費が減少
その他	+3.8%	+9.4億円	経営委託店の増加に伴い、経営委託料等増加

(3) 営業外収益 13億円、営業外費用 31億円

	前期比	前期差額	要因
営業外収益	+23.1%	+2.6億円	受取利息の増加 +1.3億円
営業外費用	+42.0%	+9.3億円	前期比+102店の閉店で、解約損害金が増加 +9.1億円

(4) 特別利益 15億円、特別損失 60億円

	前期比	前期差額	要因
特別利益	+50.0%	+5.1億円	旧サックスの厚生年金基金代行部分返上益として13.4億円を計上
特別損失	+30.3%	+14.0億円	前期比+102店の閉店で、閉店に関わる費用増加 ・固定資産処分損: +9.0億円 ・リース解約損: +3.4億円 減損損失24.4億円(前期比 -9.7%)を計上

業界環境

- ・他業種も含めた競争激化
- ・景気減速懸念、消費マインドの低下
- ・原材料の高騰に伴うメーカー値上げ圧力
- ・タスポ導入 ・薬事法改正
- ・メタボ検診の義務化

サークルKサンクス

- ・利益構造の変化（Aタイプ店舗比率の低下、ロイヤリティ収入の減少、自営店の増加）
- ・客数減による売上減少
- ・大型システム投資

中期経営方針

- 1 「顧客価値」の実現 → “お客様に愛されるお店”
- 2 新しい商品・サービスに「挑戦」
- 3 地域戦略・地域別損益管理の促進
- 4 利益体質への変革 → 質の強化・ローコスト徹底・ROE向上
- 5 業務効率の向上・最適化 → FC契約の統一、新FCパッケージ導入

7. 「3カ年計画」

1 連結業績計画

(単位:店、百万円)

	2009/2期	2010/2期	2011/2期
出店	355	399	444
閉店	282	300	315
期末店舗数	5,311	5,410	5,539
既存店前年比	-1.0%	+0.5%	+0.5%
値入率	29.04%	29.04%	29.09%
チェーン全店売上高	898,280	924,290	959,360
営業総収入	206,160	216,480	233,280
営業利益	17,000	16,090	17,500
経常利益	15,800	14,900	16,100
当期純利益	6,620	6,430	7,360

(注) 既存店前年比と値入率は「単体ベース」

■設備投資計画(リースを含む)

(単位:百万円)

	2009/2期	2010/2期	2011/2期
新店投資	12,703	14,266	15,658
既存店投資	1,437	1,466	1,478
システム関連投資	12,515	3,600	2,003
本部関連投資	435	428	431
設備投資計(1)	27,090	19,760	19,570
リース対応分(2)	15,710	9,270	7,400
総投資額(1)+(2)	42,800	29,030	26,970

8. 株主還元について

【株主還元の基本方針】

2008/2期まで

連結配当性向25%以上を目処とし、
将来的に30%を目指す



2009/2期以降

連結配当性向**30%以上**を目処とし、
安定配当を維持する

自社株買いは、設備投資計画、財政
状況を見極めながら検討していく

【株主還元状況】

	2007/2期	2008/2期	2009/2期 予想
中間配当	19円	20円	20円
期末配当	19円	20円	20円
年間配当	38円	40円	40円
配当性向	31.7%	39.1%	50.6%
純資産配当率	2.7%	2.7%	2.6%
自己株式の取得	50億円	-	-

【株主優待制度】

ご所有株式数	2007/2期
100株～499株	1,000円分(年間2,000円分)
500株～999株	2,500円分(年間5,000円分)
1,000株以上	5,000円分(年間10,000円分)



←2007年秋お買物カード